

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 野村 義雄
幹事 深見 章
会報委員長 北野 寿三郎

No. 43

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 RI会長 チャールズ・C.ケラー

第287回例会 昭和63年 5月 24日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇出席報告

会員 55名 出席 40名
出席率 72.22%
前回 5月17日 (修正出席率)98.18%

◇ビジター紹介

新潟RC 高橋 彦蔵君 他7名

◇お誕生日祝福

石田君 (5/27)

◇ニコボックス

小林 明君 去る5月19日のゴルフ会で、
家内共々優勝致しました。
太田 茂君 麻雀会優勝しました。
杉山 貞男君 会社の住所が変わりましたの
で、よろしく願い致します。
加藤 敏昌君 御耳を汚します。
大谷 和雄君 早退させて頂きます。
石田 耕嗣君 誕生日祝い。
三輪 康君、佐野 寛君 結婚記念日祝い。

◇深見幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。
2. ロータリーの友5月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇野村会長挨拶

当クラブでは毎月第1例会では国歌「君が代」を歌います。私が君が代を歌う機会には殆んどありませんが、日本の国家は誠に平和そのもので敵もなければ従って戦うという言葉はどこにもない。ただ世の永遠を歌う丈であります。

他国の国家は敵を打つ為に生命を国に捧げるという歌詞が多い。例えばフランスの国歌は「行け、祖国の国民、ときこそ至れり、正義のわれらに、旗はひるがえる。聞かずや野に山に敵の叫ぶを…… 起て国民いざ矛をとれ、進め進め仇なす敵を葬らん」

ソ連は「鍛えし国、わが強者、攻め来る敵打ち破り」と歌い出す。次の国家、「起て奴隸となるな、血と肉もて築かん、よき国、われらが危機迫り来ぬ、今こそ戦うときが来ぬ…… 進め、敵に当らん、進め、進め、進めよ。」というの、進歩的文化人と称せられる人々や一部マスコミが平和国家のサンプルの様になって来た中華人民共和国の国歌であります。(以上、ポール・ボネさんの“不思議の国ニッポン”より引用)

わが国はこの国と平和友好条約を結んでいまして。ということは、お互いに内政干渉はしないし、悪口は言わないという事でしょう。

処で、又々この国からの苦情で大臣が辞める事になりました。

平和友好条約を結べば両国は仲好しになるのだと信ずる国と、条約は取引であって、ソ連をけん制する為には必要なのだと信じている国との違いであり、君が代を国歌とする人種と“進め進め、敵に当らん”と歌う人種との違いで、馬鹿にされているのに必死になって純情を捧げるのはいい加減にしたらどうかと思うわけです。

◇講演

“与太話”

歴代会長 加藤 敏昌 君



昨年ショパンのエチュードを流して会長職を辞し、今後再びこの壇上より皆様にお話申し上げる事はないだろうと思っておりましたが、万止むを得ざる経過を取りまたまた恥ををく事になりました。「タイトル」にお示した様に与太話をして責めを免れます。過日ロータリー情報委員長会議があり私も出席さ

せて頂きました。パネラーは奥田パストガバナーであり、アシストの一人は私と同門の外科医の方でした。色々議題が出ましたが会の終了に際して奥田パストガバナーがもっと高い次元のお話をしたかったのですが、自らの不手際で貴重な時間を此様な結果で終わる事を甚だ遺憾であると申されましたが私も全く同感でした。唯一つの私の脳裏に残っているお話をさせていただきますが、これは私が会長就任時にお話した事と似通っていますので、古い会員の方々は私の独断或いは偏見と思われるかもしれませんが事実のままお話し致します。強調されましたのは一業種一人であるべき筈のロータリークラブ構成メンバーの原則が大きく崩れ、あるクラブでは10人もの銀行家がおられ、これを8人残し7人の方は他のクラブに移籍された例もあるようです。「ボールハリス」の原点に戻る様に強く要請されました。現クラブの構成員は別として今後の入会者に対しては厳重なチェックをする様にとの事でした。更に例として東芝の固有名詞が出て参りました。東芝に1人の「ロータリアン」がいるとすれば同じ東芝から2人目のロータリークラブへの入会は如何に、優秀な方であり、例え担当する分野が異なっても入会は認められません。これは定款にもはっきりと書いてありますが、同じ企業又は職種から複数の入会が認められているのは僅か2、3の業種に限られている事は皆様御承知の通りです。会員数を増す為にこの原則が、事実は大きく乱れ伝聞に依れば内科医と内科という様な職業分類を採用されているクラブもある様ですが、内科を専門とする医師が内科医であり内科という職種はありません。一方で、増強が声高に言われて居りますが、原則を無視してまで増強する必要はありません。世界中のロータリークラブの中で会員数が10名以下のクラブが50程ある様ですが、私達は「ロータリーライフ」に対し甘えがあるのではないのでしょうか。苦しくともこれは至極当然の事であり本当に会員増強を考えるのなら担当委員会のみならず、我々個々もそれ相応の努力が必要であると思ひますし裏返しは当クラブの構成メンバーが優れた人の集いとなれば自然に増加して参ると思ひますし、広報委員会の努力も大切な事と思ひます。以上で私の委員会報告を終り与太話に移ります。過日何気なくテレビを見ていましたらグルメブームの放映をして居りました。ファッションおにぎりから苺大福、サラダ大福に始まり、1個500円のファッションケーキ、1匹800円の鰻の干物、1本18万円のワイン等々、飽食しながら東京都では1日2,400tの残飯が出る様です。私の様に戦中戦後を過ごした者

にとっては恐ろしく見え参りました。飽食のみならずその他1つ1つを捕えて今の日本人をクールな目で見ていますと日本の将来がどうなるか甚だ悲観的にならざるを得ません。先日、自動車免許証の更新に参りましたが、待ち時間も多かろうと、当クラブ会員の1人より献本して頂いたヘンリーアサーの「ストロンメディスン」を一冊持って参りました。待ち時間の間はこの本を読む事が出来ましたが、回りを見ますと、漫画本、週刊誌を読み耽っているのがほとんどで残りは新聞を読んだり、テレビを見ている者ばかりで所謂本らしき物を読んでいる人は1人も見かけませんでした。元来私は専門馬鹿で猛烈なスピードで変化する外科の専門書を読むのに精一杯で所謂教養書を読む暇は仲々採れません、朝日新聞朝刊4月13日付けの論壇に栃木県の高校8年生の井上緑という方が某大学の教授選考の紛糾の批判をしっかりとした文脈で書いておられその中に、中沢新一氏の書かれた雪片曲線論を中学3年生の時に読んだと書いてありましたので、これだけの文書を書ける子供がどの程度の内容の本を読んだのか些か興味を惹かれましたので早速この本を求め読んで見ました。この頃の中学生は漫画漬け、「フォーカス」漬けにされていると思って居りましたが些か救われる思いがしました。私は会長挨拶の殆どを300枚程のスライドを使って主に外科を中心としてお話をしましたが中国の春秋時代、普の諺、景公の病より、「病脊盲に入る」という諺が出て参りますが、これは脊とは心臓の下の方を言い、盲とは横隔膜の上の部分と言うのであってここに病巣が発生すると不治の病になると言う意味の様です。世の中が高齢化して参りまして私達が手術をする対象も年々変わって参りましたが最近経験したおもしろい症例をスライドでお話しして参ります。

◇住所変更のお知らせ

会員 杉山 貞男 君
事業所 〒464 名古屋市千種区内山

2-13

株式会社 スギヤマ薬品

TEL 733-8001

FA X 733-7401

◇次回例会(5月31日)

講演 “私のスカウト時代と
今のスカウティング”

ボーイスカウト千種地区コミッショナー

高橋 正光 氏 (紹介 木全君)

◇次々回例会(6月7日)

講演 “最近の健康ブームについて”

愛知学院大学歯学部教授(内科学教室)

二木 厚 氏 (紹介 黒須君)